

XII 川崎市公害研究所業績目録

(昭和52年1月現在)

学会等の発表の部

- 寺部本次： 大気汚染測定法とその問題点，石油学会 第13回講演会，昭和46年
- 石田哲夫，他： 粒子状大気汚染物質の電顕的研究，第13回大気汚染研究全国協議会(大分)，昭和47年，大気汚染研究，7(2)，1972
- 永田正信，他： 工業用固定燃焼施設における窒素酸化物，炭化水素の排出，第14回 同上(福島) 昭和48年，大気汚染研究，8(3)，1973
- 林 久緒，永田正信，市橋正之，他： ベンゾ(a)ピレン等による川崎市の大気汚染状況，第15回 同上(千葉) 昭和49年，大気汚染研究，9(2)，1974
- 林 久緒，他： 多連型真空昇華装置を用いた汚染粉じん中の多環芳香族炭化水素の分析法，同上
- 林 久緒，島田ひろ子，石田哲夫，永田正信： 超音波による浮遊粉じん中の成分の分析法，第16回 同上(新潟)，昭和50年，大気汚染研究，10(4)，1975
- 林 久緒，永田正信，市橋正之，他： ベンゾ(a)ピレン等による川崎市の大気汚染状況，同上
- 島田ひろ子，石田哲夫，永田正信，市橋正之，他： 川崎市大気浮遊粉じん中の諸化学成分間の相関について，同上
- 石田哲夫，永田正信，他： 固定発生源におけるNO_x排出調査について，同上
- 石田哲夫，島田ひろ子，林 久緒，永田正信： 浮遊粉じん中の水溶性物質の測定，第17回 同上(横浜)，昭和51年，大気汚染研究，11(大会号)
- 林 久緒，他： 粒径別大気浮遊粉じん中のベンゾ(a)ピレンと重金属の含量について，同上
- 永田正信，林 久緒，市橋正之，他： 川崎市の大気中ベンゾ(a)ピレン含量等について，同上
- 石田哲夫，他： 大気浮遊粒子状物質中のSとClの挙動について，同上
- 林 久緒，島田ひろ子，石田哲夫，永田正信，市橋正之： 川崎市における大気中浮遊粉じん濃度と各成分及び浮遊粒子状物質の測定結果，第1回環境保全公害防止研究発表会，昭和49年
- 黒沢康弘，小清水 正，他： 標準色票による着色水の色測定について(第2報 刺激純度との比較)
- 枝 雅之，他： 川崎市の環境騒音と環境要因との関連性，第2回 同上，昭和50年
- 石田哲夫，永田正信，市橋正之： 電子顕微鏡による大気汚染粒子状物質の研究(金属薄膜を腐食する粒子について)，同上
- 佐藤静雄，鈴木英世，林 久緒，沼川美登利： 川崎市における大気中有機物質の調査研究-(3) GC-MSによるSIM法及びSID法について 第3回 同上，昭和50年
- 佐藤静雄，沼川美登利： DSIR及び国産品のPbO₂を用いたPbO₂法によるイオウ酸化物測定値の比較： 同上
- 沖山文敏，他： 川崎市の用途地域別環境騒音調査，日本音響学会(甲府)，昭和47年
- 山田 茂，永田正信，他： 川崎市における降下ばいじん中の金属成分について，第32回 日本公衆衛生学会(広島)，昭和48年
- 寺部本次： 大気汚染測定法とその問題点，計測自動制御学会(土木学会講堂)，昭和47年
- 鈴木英世： 酸性雨の原因物質に関する研究-第1報(雨水中の有機物の分析)，第7回 安全工学研究発表会，昭和49年
- 永田正信，山田 茂，井上 勇： 川崎市における降下ばいじん中の金属成分の測定について，川崎市公衆衛生研究発表会。昭和47年
- 山田 茂，永田正信，他： 川崎市における降下ばいじん中の金属成分について，同上，昭和49年
- 沖山文敏，他： 環境騒音の評価と予測に関する研究(その1) 環境騒音の調査結果と環境要因との

関連性， 日本音響学会，昭和50年

沖山文敏，他： 環境騒音の評価と予測に関する研究（その2）環境要因の設定と環境騒音の実態調査，同上

枝 雅之，他： 環境騒音調査について，全国公害研究所協議会関東甲信越支部騒音振動専門部会研究発表会，昭和50年

沖山文敏，他： 川崎市の環境騒音について，同上，昭和51年

沖山文敏，他： 鉄道振動調査について，同上，昭和51年

寺部本次 Air Pollution Monitoring Network in Industrial City of Japan - An Experience in Kawasaki, Atmospheric Pollution, p.497-510. Elsevier, Amsterdam. 1976 (presented at the 12th. International Symposium, Paris, France. May 5-7, 1976)

石田哲夫，他： EDXMによるエアロゾル中のSとClの定量法，第16回 労働衛生工学会，昭和51年

黒沢康弘，小清水 正： 標準色票による着色水の色測定について
神奈川県公衆衛生学会，昭和47年

高橋 篤，他： ゲルクロマトグラフィーによるペプチド類の分子量測定
日本分析化学会第22年会，昭和48年

山田 茂，他： 川崎市における毛髪中の重金属調査について
川崎市公衆衛生研究発表会，昭和50年

黒沢康弘，他： 川崎市公害研究所排水処理の現状
全国公害研究所協議会関東甲信静水質専門部会，昭和50年

山田 茂，他： 川崎市における毛髪中の重金属調査，第34回 日本公衆衛生学会，昭和50年

黒沢芳則，島田 要： 分析の省力化について
全国公害研究所協議会関東甲信静水質専門部会，昭和51年

黒沢康弘，小清水 正，早坂孝夫： 標準色票による着色水の色測定について（第2報）
第1回 環境保全公害防止研究発表会，昭和49年

年報・雑誌等の部

永田正信，山田 茂 川崎市における浮遊粉じん濃度と金属成分の調査結果， 神奈川県大気汚染調査研究報告，第14報，P.55～57，昭和47年

山田 茂，井上 勇，永田正信，他： 降下ばいじん中の金属成分について， 同上 第16報，P.45～55 昭和49年

島田ひろ子，林 久緒，石田哲夫，永田正信： 川崎市における浮遊粉じん調査
同上 第18報，P.67～71，昭和50年

望月ひろ子，林 久緒，石田哲夫，永田正信，市橋正之，他： 川崎市における大気中浮遊粉じん濃度とその各成分ならびに浮遊粒子状物質の測定結果， 川崎市公害研究所年報 1， P.10～25，昭和47年

石田哲夫，他： 粒子状大気汚染物質の電顕的研究， 同上 P.26～29

島田ひろ子，林 久緒，石田哲夫，永田正信，市橋正之： 川崎市における大気中浮遊粉じん濃度とその各成分ならびに浮遊粒子状物質の測定結果（第2報），
同上 2， P.24～43 昭和48年

石田哲夫，島田ひろ子，林 久緒，永田正信： 川崎市工業地帯における大気中アンモニア濃度（インドフェノール法による） 同上 P.44～47

島田ひろ子，林 久緒，石田哲夫，永田正信，市橋正之： 川崎市における大気中浮遊粉じん濃度とその各成分ならびに浮遊粒子状物質の測定結果，（第3報）， 同上 3，昭和50年

- 佐藤静雄, 吉田謙一, 他: デポジットゲージ法とダストジャー法の比較研究
神奈川県公衆衛生学会発表, 昭和46年, (川崎市公害研究所年報, 1, 昭和46年)
- 佐藤静雄, 山田 茂, 他: NO_x測定値におよぼすSO₂の影響について, 大気汚染研究, 6(1)
昭和46年
- 佐藤静雄, 吉田謙一, 沼川美登利: Jacobs—Hochheiser 法の改良法について— (1)
同上 8(3), 昭和48年
- 寺部本次, 他: 浮遊粒子状物質の環境基準にともなう測定法の検討
同上 8(3), P.248, 昭和48年
- 寺部本次, 川崎市における, いおう酸化物地区別許容排出総量算出の手法について
同上 P.290, 昭和48年。
- 寺部本次, 他: 川崎市における発生源亜硫酸ガス自動監視システムについて (第2報),
同上 P.404, 昭和48年
- 佐藤静雄, 井上 勇, 石塚謙一: 大気中の窒素酸化物相対濃度測定法に関する研究
同上 10(4), 昭和50年 (川崎市公害研究所年報, 3, 昭和50年)
- 佐藤静雄, 石塚謙一: Jacobs—Hochheiser 法の改良法について— (2)
同上 9(2), 昭和49年 (川崎市公害研究所年報, 3, 昭和50年)
- 佐藤静雄, 沼川美登利: PbO₂法によるSO_x測定法におけるNASN法とSEOUL法の比較について
同上 9(2), 昭和49年
- 佐藤静雄, 沼川美登利, 他: 降雨中のPh及び陰イオンについて, 同上 10(4), 昭和50年
- 佐藤静雄, 鈴木英世: 酸性雨被害原因物質に関する研究—第2報 (雨水中有機物について)
同上 10(4), 昭和50年
- 佐藤静雄, 鈴木英世, 沼川美登利: 川崎市における大気中有機物質の調査研究— (1)
(VCM, Chloro prene), 同上 11, 昭和51年
- 佐藤静雄, 鈴木英世, 林 久緒, 沼川美登利: 川崎市における大気中有機物質の調査研究— (2)
同上 11, 昭和51年
- 鈴木英世, 他: 相模湾・伊豆諸島海域における大気汚染物質調査 同上 11 昭和51年
- 石塚謙一, 他: 神奈川県臨海地区における窒素酸化物の分布について— (1) (TEAろ紙法)
同上 11, 昭和51年
- 石塚謙一, 他: 高速道路からの窒素酸化物の拡散について (第2報)
大気汚染研究, 10(4), 昭和50年, 神奈川県臨海地区大気汚染調査報告, 昭和49年
- 寺部本次: 窒素酸化物における大気汚染とモニタリング, 公害対策, 7(11), P.3~12, 昭和46年
- 寺部本次: 大気中の二酸化窒素測定法と諸問題, 同上, 7(6), P.49~52, 昭和46年
- 寺部本次: 公害分析指針(大気編1~b)窒素酸化物, (共立出版), 昭和47年
- 永田正信, 他: 光化学反応要因物質発生源調査報告 (固定燃焼施設における窒素酸化物・炭化水素の排出量について)
- 寺部本次: ザルツマン係数について, 分析化学, 21(3), P.464, 昭和47年
- 寺部本次: 川崎市の大気汚染の現状と今後の対策, 空気清浄, 10(5), P.66~71, 昭和47年
- 寺部本次: 大気汚染物質の測定法—特にイオウ酸化物、窒素酸化物について, 化学教育 20(3)
P.214~221, 昭和47年
- 寺部本次: パーミエーションチューブ法によるザルツマン係数の検討とNO₂自動測定器の校正に関する研究, テクニコン国際シンポジウム論文集 P.241~244, 昭和47年
- 鈴木乙松, 緒方行治: 光化学スモッグ原因物質調査報告 (横浜国立大学), (事業企画参加)
昭和47年

- 寺部本次： 大気汚染の計測について， 燃料協会誌， 52 (549)， P.24～35， 昭和48年
- 沖山文敏、見留与吉： アナログデータレコーダーの騒音振動公害計測における応用， エレクトロニクスダイジェスト 179， 昭和48年。
- 寺部本次： 公害防止の積極化—川崎市を例にとりて， 化学装置， 1973年1月号 P.117～121
- 寺部本次，他： 海外における大気汚染の現状と対策（調査報告）， 昭和48年
- 寺部本次： 海外におけるNO_x対策と研究開発の動向， 空気清浄， 11(6)， P.9～16， 昭和48年
- 寺部本次： 排ガス試料取方法， JIS K0095—1973， 昭和48年
- 佐藤静雄，他： 高速道路周辺地域における大気中の窒素酸化物濃度， 大気汚染研究， 9(2)， 昭和49年， 神奈川県臨海地区大気汚染調査報告， 昭和48年
- 永田正信，他： 施設別類型別大気汚染物質発生量原単位調査報告， 昭和48年及び49年
- 緒方行治： ニューヨーク市騒音防止条例—その1. 公害と対策 9(9)， P.60～64， 昭和48年
- 緒方行治： ニューヨーク市騒音防止条例—その2. 同上 9(10)， P.75～80， 昭和48年
- 寺部本次： 二酸化いおう（排ガス連続分析法のための校正用ガス）JIS K0513—1974 昭和49年
- 石田哲夫，他： A STUDY ON URBAN PARTICULATE AIR POLLUTANTS BY THIN METAL FILM METHOD. (Industrial Health, 12, 73, 1974)
- 見留与吉、沖山文敏： 環境騒音に関する調査研究報告（東京工大），（事業企画参加） 昭和49年
熱間工場の騒音防止に関する調査研究報告（東京工大），（事業企画参加） 昭和49年。
- 寺部本次： 大気汚染の自動分析， 化学同人（分担執筆），昭和49年
- 寺部本次： 大気汚染ハンドブック(1)測定編， コロナ社，（分担執筆），昭和50年
- 緒方行治： 川崎市における光化学スモッグ， 科学の実験 25 (1)， P.21～25， 昭和49年
- 緒方行治： ニューヨーク市騒音防止条例—その3. 公害と対策， 10(2)， P.73～77， 昭和49年
- 鈴木乙松、緒方行治，他： 川崎市における自動車走行状態の調査研究報告（早稲田大学），（事業企画参加）， 昭和49年
- 寺部本次： 排ガス中の二酸化硫黄自動計測器， JIS B 7981—1975 昭和50年
- 井上 勇、石塚謙一、市橋正之： 放射能調査報告（川崎市）， 14・15， 昭和49年—50年
- 永田正信，他： 固定燃焼施設における大気汚染物質の排出係数に関する調査報告， 昭和50年
- 永田正信、石田哲夫，他： 川崎市固定発生源におけるNO_x排出実態調査報告， 昭和50年
- 見留与吉、沖山文敏，他： 環境騒音に関する調査研究， 第2次報告（東京工大）(事業企画参加) 昭和50年
- 寺部本次： 防錆と公害対策。 PPM, 6(11), P.18～28, 昭和50年
- 寺部本次： 一酸化窒素及び二酸化窒素（標準試料）， JIS K0051—1976， 昭和51年
- 寺部本次： 海外におけるエアロゾル汚染研究の動向， 産業公害， 12(10)， P.10～16， 昭和51年
- 鈴木英世： 大気汚染のガスクロマトグラフ技術（共同執筆）三共出版 昭和51年
- 市橋正之： 川崎市における大気汚染の現状， 空気清浄 13 (6)， P.20～28， 昭和51年
- 林 久緒，他： 多連型真空昇華法による大気浮遊粉じん中の多環芳香族炭化水素の抽出， 分析化学， 25(6)， 昭和51年
- 石田哲夫： 電子顕微鏡による大気汚染粒子状物質の研究， 環境研究 11， 1976
- 沖山文敏、枝 雅之、見留与吉： 環境騒音の予測と評価， 音響技術 5， 昭和51年
- 緒方行治、林 久緒： 七大都市自動車技術評価委員会自動車排出ガス調査報告，（ワーキンググループ参加） 昭和50年～
- 緒方行治、鈴木乙松、石原哲也： 川崎市臨海地区石油化学コンビナートにおける企業活動実態調査。（事業企画及び調査に参加）， 昭和51年～52年（実施中）

- 黒沢芳則、島田要： 多量の塩素イオンを含む場合のCOD測定法について 川崎市公害研究所年報 1, P.61~65, 昭和47年
- 黒沢芳則、島田要、平山南見子： 水中におけるフタル酸エステルの試験法の検討 同上, 2, P.50~55 昭和48年
- 高橋篤、他： ガスクロマトグラフィーによる水中のトリクロルエチレンの分析 同上, 2, P.63~66 昭和48年
- 島田要、平山南見子： リン定量法の検討 同上, 2, P.56~63 昭和48年
- 高橋篤、小池順一： 水中の微量アクリルアミドの定量法の検討 同上, 3, P.46~49 昭和49年